



文部科学省

現職日本語教師研修プログラム普及事業



# 中国残留邦人等の体験と労苦を伝える 「戦後世代の語り部」講話会

終戦から80年、今も苦しんでいる人がいる  
～ある残留孤児が経験した「戦後」～

敗戦直後、中国東北部の街に日本人の女の子が一人取り残されていた。その子は中国人に引き取られ、中国人として育った。17歳になった時、自分が日本人であると知らされた彼女は、日中国交正常化から15年後の1986年、家族と共に日本へ永住帰国。帰国後の生活も思わぬ苦難が続いた。

■語り部：伊藤 光子さん

■日 時：2026年1月11日（日）  
10時～11時半

■会 場：北海道立道民活動センター  
(かでる2・7)940号室

■参加費：無料 ■定員：30名

■お申込み：以下のフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/5mBv2qcJm1Xw7Nqt8>



社会福祉法人さっぽうと21は文部科学省委託により「難民等に対する日本語教師研修」を行っています。中国帰国者の方々への日本語教育についても学ぶ研修です。この事業の一環として、より多くの方々に難民、中国帰国者の方々のことを知っていただきたく、札幌での「講話会」を企画しました。ご興味をお持ちくださる方どなたにもご参加いただけます。この機会に、ぜひ語り部の方のお話を通じて、身近にいるかもしれない帰国者の方の想いに耳を傾けてみませんか。

※「戦後世代の語り部」は、首都圏中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託）が、中国・樺太残留邦人の体験を次世代に語り継ぐために育成した戦後世代の伝承者です

主催：社会福祉法人さっぽうと21 <https://support21.or.jp/>

東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル6階

電話：03-5449-1331 ☐ kensyu@support21.or.jp

後援：公益財団法人 札幌国際プラザ <https://www.plaza-sapporo.or.jp/>

※文部科学省「令和7年度現職日本語教師研修プログラム普及事業」

※中国帰国者支援・交流センター「戦後世代の語り部」事業